

「雪害による犠牲者ゼロのための地域の防災力向上を目指す検討会」（第3回）
議事概要について

1. 検討会の概要

日 時：平成21年3月11日（水）14：00～17：00

場 所：内閣府防災A会議室

出席者：大西座長、赤城、五十嵐、伊藤、井上、上村、川村、佐藤、沼野、
福島 各委員
内閣府田尻参事官、国土交通省井上課長 他

2. 議事概要

雪害による犠牲者防止対策試行実験結果の報告、提言（案）及びパンフレット（案）等について事務局より説明を行った。これらの内容について各委員にご議論を頂いた。委員からの主な意見等は以下のとおり。

（主な意見）

- 提言も一般住民が対象ということであれば、「雪処理」という言葉も良いと考える。
- 「共助による雪処理活動に係る連絡協議会」の名称がお役所的である。例えば「共助による雪処理を進める連絡協議会」などとした方が、通りが良いと思う。
- ご指摘のとおり「共助により雪処理を進める連絡協議会」にさせていただきたい。（事務局）
- 「共助による雪処理活動に係る連絡協議会」の構成と主な業務のイメージ（案）の表で、NPOの業務が「自治会の業務の支援」しか役割を与えられていない。NPOは力を付けており、中間支援、政策立案といった役目を分担できるようになってきている。それを反映してもらいたい。
- NPOは当該地域でのみ活動しているわけではなく、広く社会的に活動しているケースが多い。直接困っている方を助けるケースもあるのではないか。除雪のNPOとかはないのか。他の組織が地域に限定されているのに対し、NPOは比較的フレキシブルに組織されているので、その辺も強調してみてもどうか。
- 「雪下ろしの必要のない場所に移り住む」はあまりに刺激的である。意味は分かるので、「冬期期間の移住も考慮する」など、「一時的な避難」というニュアンスが分かるキャッチフレーズにした方が良い。
- 「雪下ろしの必要のない場所に移り住む」について、私どもの地域ではあま

り事例がない。住民はずっと住みつづけたいのだ。そのためにはどうするか。移住を希望しない住民に対して応えきれていない。

- 雪処理の困難な世帯のためには、こういう選択肢もあるのではないかというところが本旨なので、見出しの表現から誤解を受けないように配慮してもらいたい。
- 見出しについては、ご指摘を踏まえ、「雪処理が困難な人のために居住施設の確保を図る」としたい。見出し下の文章については、案文のとおりとさせていただきます。（事務局）
- パンフレットの表紙タイトル（サブタイトル）「安全な雪下ろしと除雪中の犠牲者ゼロを目指すために」について、パンフレットの中身と矛盾しているのではないか。「安全な雪下ろし」だと、除雪機の事故は含まれなくなる。「雪下ろし」ではなく「雪処理」としたほうが良い。「除雪中の犠牲者ゼロ」についても考えてもらいたい。注釈の中に、雪の事故は除雪中に限らない、とあったので、「雪の事故による犠牲者ゼロ」にした方が良い。
- タイトルが「雪害」から「雪の事故」に代わり少しは良くなったが、「雪の事故」という言葉は、予期しない不慮の出来事、不幸な事件であり、その中身は雪崩、交通事故、吹雪による事故などいろいろある。「雪処理の事故」と限定するのが素直な表現ではないか。「雪の事故」とするなら、雪崩などに対する対策を盛り込むべき。これを盛り込まないならば、タイトルを再考すべき。
- パンフレットの表紙については、できるだけコンパクトにしたい、という思いはある。「住民の」とか「住民による」という言葉は、やや違和感があると思う。メインタイトルは「除雪中の事故防止に向けた対策」ではいかがか。副題で「住民の」といった言葉を入れるなど、対応させていただきます。パンフレットはサブタイトルを付けるなど工夫したい。例えば「住民による雪処理の事故を防ぐ」といった言葉を用いるなど。（事務局）
- 屋根から転落している人のイラストは頭を上にしたほうが良い。
- 「除雪機による事故」という表現は「除雪機が被害を与える」というのはメーカーに対して失礼なので「除雪機の事故」とすべき。
- パンフレットの「『注意喚起』に気を付けましょう。」は言葉として不自然である。「『注意喚起』の情報に気を付けましょう。」ではどうか。